



2. 中央市街地緑化重点地区緑化推進計画

(1) 概況と緑化推進上の課題

①地区の概況

- 本地区はJR足利駅、東武鉄道足利市駅を中心として、本市の玄関口、交通の結節点と位置づけられるほか、足利学校・鏝阿寺^{ほんな}や市立美術館などが集積する歴史・文化の拠点ともなっています。また、県道桐生・岩舟線沿道を中心に商業・行政機能などが配置された本市の中心拠点、「顔」となる地区といえます。
- 渡良瀬川が地区を貫流し、緑の軸となって都市のゆとりを演出し、足利学校や都市公園である大日苑が緑の拠点となって市街地における重要な緑地空間となっています。また、街路樹や植樹帯が整備された幹線道路が配置されるなど、市民や本市を訪れる人に親しまれていますが、中心市街地として建築物の密度も高いため、敷地に緑化するための余地が少ない状況もみられます。
- 渡良瀬川北部の市街地においては、道路・公園等の都市基盤が不足し、災害時の安全性の低下や商業活動の停滞が進みつつある区域もみられます。こうした現状を受けて、土地区画整理事業による魅力ある都市づくりが進められています。
- 渡良瀬川南部の市街地においては、工場の移転等に伴って大規模店舗の立地が進んでいます。この新たな商業拠点の形成により、まちの景観は大きな変貌をとげています。

②緑化推進上の課題

地区の概況を踏まえた、緑化推進を図る上での課題は次のように整理されます。

○香り高い歴史文化・伝統を活かすまちの演出

足利学校・鏝阿寺^{ほんな}など、中世の歴史文化を今に伝える遺産がひかえる地区であり、東の小京都として多くの観光客を引きつけています。こうした香り高い歴史文化を伝えていくことは、観光振興という側面だけでなく、市民の心の拠りどころ、郷土への愛着の醸成に不可欠となっています。このため、落ち着きやうるおいを演出し、これら歴史文化遺産を活かすことのできる緑化を進めることが求められます。

○足利市の玄関口にふさわしい魅力ある空間づくり

「日本一の足利三名所」を擁する本市の玄関口として、観光客等に対して自然の豊かさや歴史文化を印象づける空間や、中心市街地、商業・中枢業務機能の集積地にふさわしい空間の創出が求められます。このため緑化推進にあたっては、河川・緑などの自然の豊かさや香り高い歴史、洗練された美しさ、新たな商業集積が生み出す楽しさや華やかさなどが調和した、魅力あふれる空間を演出することができるよう、配慮が必要となっています。

○都市の防災性を高める緑化の推進

道路幅員が狭い、建築物の密度が高いことなどに起因する民有地の緑の少なさは、土地区画整理事業の推進による改善が期待されます。今後の建築物の更新などを契機として、敷地内での緑化余地の創出を図るほか、市民や事業者の主体的な参加による道路沿道を中心とした緑化活動を促すなど、都市の防災性の向上が求められます。

図 地区の現況写真



JR足利駅



JR足利駅駅前通り



ほんな
鏝阿寺お堀端



市立美術館付近



地場産業振興センター付近



国道293号田中町付近



(2) 計画のテーマと基本方針

①計画のテーマ

本地区は、中世の歴史文化のもとに培った伝統を礎とする北部の市街地と、大規模な土地利用転換に伴って商業集積が進む南部の市街地という、本市が有する二面性が表れた地区といえます。

こうした地区の特性を踏まえ、渡良瀬川を軸に、「由緒ある文化」の魅力を高める緑と「新たな文化」の創造に寄与する緑が効果的に配され、これらが調和して都市の発展を支えるまちづくりを進めることとします。

このため、計画のテーマを次のように設定し、地区の緑化を推進することとします。

【計画のテーマ】

伝統と新しい文化が水面に映える緑のまちづくり

②計画の基本方針

- 緑の拠点と位置づける足利学校や大日苑の緑を効果的に活用します。
- 「伝統」を演出し、「新しい文化」をけん引するまちづくりを推進するため、総合的で計画的な緑のまちなみの形成を図ります。
- 足利市の玄関口となる駅周辺での緑化を推進し、本市の「顔」づくりを演出します。
- 土地区画整理事業などと連携しながら、道路空間の緑化や河川等を活用した緑のネットワークづくりを推進します。
- 公共施設の緑化を計画的に推進し、市民との協働によって実現される緑のまちづくりを先導します。
- 緑化に関わる諸制度の活用や市民相互のルールづくりを促し、市民の主体的な参加による「新たな緑の文化」の創出を図ります。

(3) 緑化推進計画

①既存の緑地の積極的な活用と新たな緑地の創出による『緑の核・拠点』づくり

大日苑や朝倉公園など既存の都市公園の適切な維持管理に努めるとともに、土地区画整理事業による公園・広場の整備を図ります。

【検討する施策】

- ・土地区画整理事業による小公園の整備
- ・公園等の落ち葉清掃、樹木管理、花壇づくりへの市民の主体的な参加促進
- ・社寺林などのまとまりある緑地の保全

②由緒ある文化と新たな文化を演出する『緑のまちなみ』づくり

中世の歴史文化のもとに培った伝統を礎とする北部の市街地、大規模な土地利用転換に伴って商業集積が進む南部の市街地という特性を踏まえながら、道路や河川などの公共空間の緑と沿道の民有地の緑が一体となったまちなみづくりを、市民と行政の連携のもとで推進します。

【検討する施策】

- ・敷地まわりの生垣づくりの促進
- ・プランターなどを活用した店先・玄関まわりの緑化、花づくりの促進
- ・緑と調和したデザイン、素材などの建築物の誘導による美しいまちなみづくり
- ・「花のまちなみフェスタ」などのイベントの開催

③玄関口にふさわしい足利市の『顔』づくり

JR足利駅、東武鉄道足利市駅周辺については、本市の玄関口にふさわしい空間とするため、樹木や花などに包まれた美しい景観の形成による顔づくりを推進します。

【検討する施策】

- ・四季折々の花による花壇やプランターの設置
- ・シンボルツリーとなる樹木による植栽

④由緒ある文化と新たな文化を巡る『緑の回廊』づくり

JR足利駅、東武鉄道足利市駅の本市の玄関口と、足利学校・鑱阿寺ほんななどの緑の核・拠点、公共施設による緑の目印を相互に結び、文化の香りや美しさを感じながら地区を回遊することのできる緑の回廊の形成を図ります。

【検討する施策】

- ・歩道部分への花の咲く低木や、香りのある樹木による植栽、プランターの設置
- ・ベンチ等を設置した小公園や休憩スペースの計画的な配置



⑤公共施設の計画的な緑化の推進による『緑の目印』づくり

市立美術館や地場産業振興センター、教育施設などの公共施設については、地区の目印、緑の回廊の拠点となるよう積極的な緑化を図るとともに、市民と行政の協働のもとで適切な維持管理に努めます。

【検討する施策】

- 地域の目印となる樹木、高木の植栽
- 防災機能確保のための、防火樹種による植栽の推進
- 植栽の維持・管理、花壇づくりへの市民の主体的な参加促進

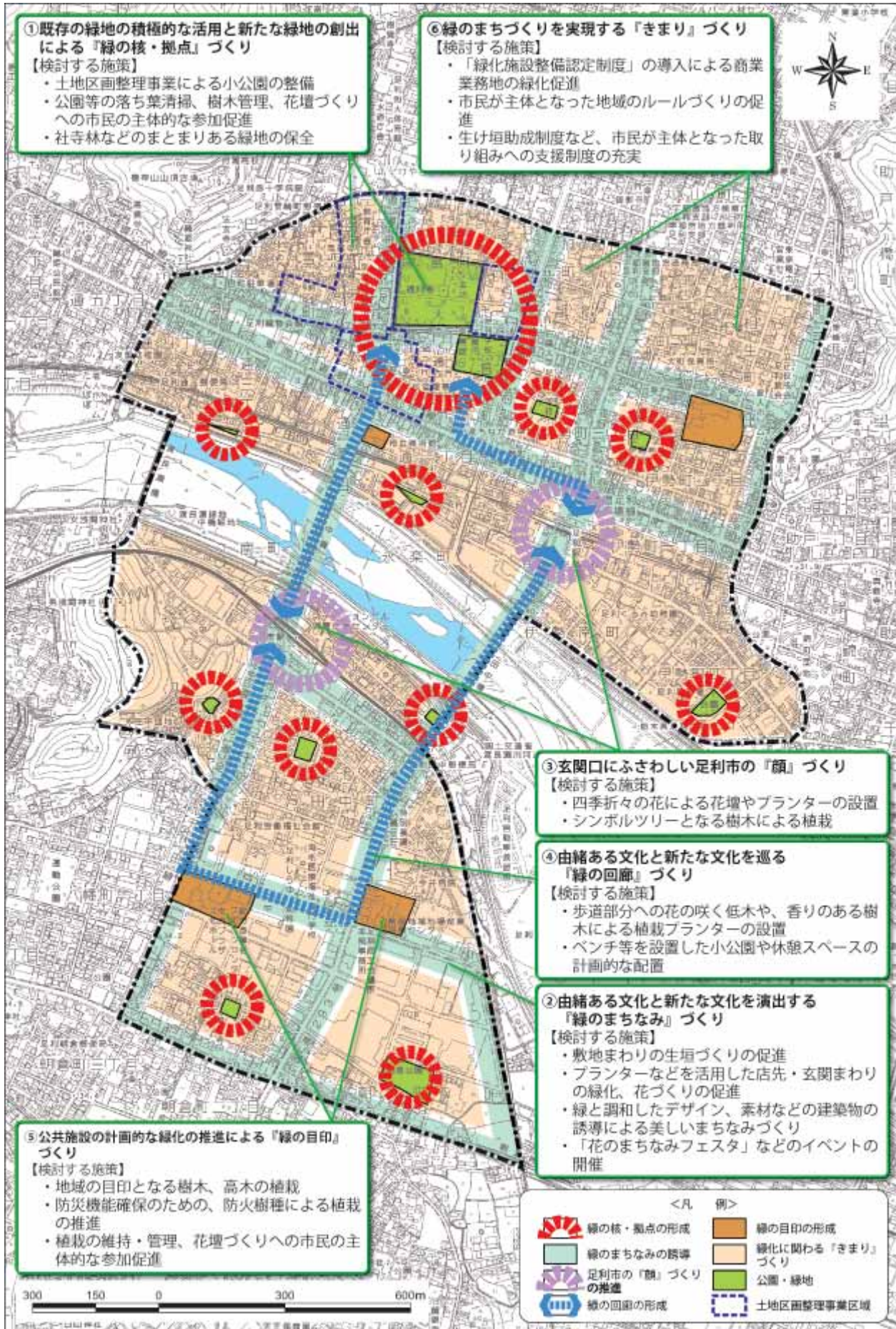
⑥緑のまちづくりを実現する『きまり』づくり

『伝統と新しい文化が水面に映える緑のまちづくり』の実現に向けて、市民参加のもとで、ルールづくりを促すとともに、それらの活動を支援するための体制及び各種制度の充実を図ります。

【検討する施策】

- 「緑化施設整備認定制度」の導入による商業業務地の緑化促進
- 市民が主体となった地域のルールづくりの促進
- 生垣助成制度など、市民が主体となった取り組みへの支援制度の充実

図 中央市街地緑化重点地区緑化推進計画



第5章 緑化重点地区における緑化推進計画